



友和

NO.589

発行日 令和8年5月1日

発行 社会福祉法人 友和の里
〒738-0203

広島県廿日市市友田218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP: <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 中村 真和

あ、はなみ



字：平 珠希

さかのぼること13年前の2013年春、サクラの季節の写真です。

みなさんお若いんですね。大きなお腹が出てる人がいたり逆にほっそりしている人もいます。時の流れを感じることができるいい写真だなあと思いました。この写真は先日の春の宴の時に保護者の方に見ただけのように通所部のホールで展示してありました。写真を見ながら「この人誰？」とワイワイ話することができました。たたずまいやポーズが今と同じ利用者さんもいますね。ふふふ。



春の宴担当者より

『春の宴』は、あいにくの雨模様となりましたが、多くの皆さまにご来場いただき、笑顔溢れる会にすることができました。足元の悪い中お越しいただいた皆さまには心より感謝申し上げます。雨天というコンディションではありませんが、お食事や会話を楽しませている様子を拝見し大変嬉しく思いました。

また、今回初の試みでもあった「缶バッジ」作りでは、利用者様、ご家族様より「やってみたい!」「できたー!」「かわいいね!」「見てください!」ここに「つきました」と自身の衣類や持ち物に世界で一つの缶バッジを付けられ喜びの声が沢山聞こえました。皆さまが喜ばれる様子は職員にとって一番の励みです。

雨の中でも感じられた皆さまの温かさや一体感は、何にも代えがたい貴重な時間でした。今回の経験を踏まえ、今後はより一層快適にお過ごしいただける環境づくりに努めてまいりたいと思っております。次回の「春の宴」もどうぞよろしくお願いたします。

(主任生活支援員 山田憲志)

受付での会話アレコレ

「雨がふるけーあるかどうか分らんかったけど、(駅に)バスがきとつたけー乗りました」
 「(タクシーで来られ)バスのことすっかり忘れとつたです」
 「元気なうちは私がいかにやあいけんけー」
 「ここまでくるのがひと仕事です」
 「バスの時間にまにあわずタクシーで来ました」

「車に乗らんくなつてから、こちらへ来るのがめつきり減つて。(頻繁にこれなくなつた)」
 「外にやつと出ました。そしてやつと会えました。(90歳を超えたお母さんがくるのを門扉ですーっと待つていた利用者さん母)」

来場されたご家族とのこうしたやり取りの中で職員が感じたことがあります。ご家族がこのイベントに参加されることで、終了後、親子で一緒に帰宅できる行事になっていること。毎年恒例の行事として定着しているのが高齢のため、いろいろ苦慮されながら来られていたことなどが分かったそうです。



この春、缶バッジ用に一人ずつ利用者さんの顔写真を撮影しました。利用者顔入り缶バッジは当日、パネルに掲示されて、自分で自分の顔を探してもらいました。ちゃんと見つけられたかなあ。

缶バッジマツーンは
 広島ひかり園さんから
 貸していただきました。
 ご協力ありがとうございました。
 みんなの笑顔が形になりました。



入所部を利用しているみなさんの笑顔
 囲みは新しく入所部を利用することになった左から石田亮さん、野島諒さん、大西祐哉さん、村松恭輔さん

あはなみ

字：塩田 兆優



人気の千しシイタケの販売

世界で一つだけの缶バッジ

春の宴にむけて利用者の皆さんにも手伝っていただき桜の飾りを作りました。春らしい雰囲気の中で皆様をお迎えし、当日は保護者の方とゆっくりお話することができました。ご自宅での様子をお訊きしながら、友和の里での様子もお伝えできて、とても有意義な時間が過ごせました。

当日おこなった缶バッジ作りも好評でした。春の宴が終わった後も服に毎日着けて過ごされている利用者さんもうらっしゃいます。缶バッジ作成のために満開の桜の下で写真撮影をしました。職員が桜の枝をそつと持ち上げベストな位置に調整したり、「こっち向いて〜」「すごくいい表情ですよ〜」と写真館のように声掛けしたりしながら撮影したそうです。そのおかげで、とても素敵な一枚が撮れ、世界で一つだけの缶バッジが完成しました。

(生活支援員 宮本 なみ)

春の宴を終えて

今年の春の宴は屋内で開催することで利用者さん、ご家族、職員の距離感が近くより親睦を深めることができたと思います。ホームで暮らす利用者さんからは、イベントが近づくにつれ「おべんとうは何がでるん?」「お母さんはくるの?」などと発言があり、当日が待ち遠しい様子が見られました。

当日は、普段お会いする機会の少ないご家族から「お久しぶりです」「いつもありがとうございます」と温かい声をかけて頂いたり、「初めまして」「これからもよろしくお願いします」と挨拶をしてもらったり、直接顔を合わせることで見えるご家族の表情や想いなどを知ることができました。

缶バッジづくりではシールを貼ったり、文字を書いたり個性豊かなオリジナル缶バッジを作成されていました。「みんなに見せたい」とご満悦な様子で、来場いただいた方々に缶バッジを見せて回る利用者さんいました。「もう1個つくりたいね」と笑顔で話している方もおられました。

(生活支援員 岡田 泰祐)

2026.4.1

にゆうしよしき 入所式

くぼのわ だいどうさな
今年度、通所部に久保望和さんと大道沙菜さんの2名の仲間が加わりました。久保さんは土いじりやYouTubeが好きで、穏やかな時間を大切にされています。大道さんは絵を描くことが好きで、豊かな表現力で周囲を魅了されています。4月1日に行った入所式では少し緊張した様子も見られましたが、穏やかな雰囲気の中でスタートを切ることができました。これから一緒に過ごす日々を大切にしていきたいと思ひます。

(部長 乙原 亮)



くぼのわ
久保望和さん



だいどうさな
大道沙菜さん

つうしょぶ | いっちゅうかつどうはん
通所部 | 日中活動班より

スタッフです！



利用者さんには達成感

感じて頂けるように
がんばります！

保護者さんには安心感

※春の宴での乙原部長のあいさつ
より引用

職員にはやりがいを

りょういくはん 利用者数
療育班 (21名) 今年度も職員一同、力を合わせながら利用者一人ひとりの思いやペースを大切にしながら支援をしていきます。日々の関わりのなかで「できた！」の積み重ねを大切に、自信や喜びへとつながり、達成感を感じられる一年となるように取り組んでまいります。(生活支援員 永見 貴一)

そうさくはん 利用者数
創作班 (6名) 今年度も引き続き担当させていただきます山田と富永です。よろしくお祈ひします。また、4月より新しくメンバーの一員となりました峠本滋基(たおもとしげき)さんを迎えより楽しく賑やかに頑張っていきたいと思ひます。今年度も創作班をよろしくお祈ひします。
(主任生活支援員 山田 憲志)

とうげいはん 利用者数
陶芸班 (10名) 今年度も引き続き朝川と米中が担当させていただきます。陶芸班での活動を通じ、地域や外部とのつながりを大切に、利用者の方が活躍できる場を広げていけるよう支援していきたいと思ひますのでよろしくお祈ひします。
(生活支援員 朝川 泰貴)

かいとおはん 利用者数
貝通し班 (9名) 今年度担当させていただきます、(写真右から)三宅、冠、谷口、橘です。よろしくお祈ひいたします。日々の作業を通じて、生活リズムの安定や機能維持につなげていきたいと思ひます。
(生活支援員 冠 茜)

ようこそ入所部へ



この日(4/1) 入所棟玄関には「ようこそ入所部へ」と書かれた看板と風船のディスプレイで飾りつけがしてありました。利用者4名とそのご家族がこのゲートをくぐって、新しいスタートを始まられています。「ともに成長しともにしにあわせになります」ように。

新入所者 4 名のご紹介

新たに入所部へ4名の利用者さんが入所されました。新たな生活について希望がふくらむ一方で、不安も大きい時期かと思えます。入所部では、利用者お一人おひとりのペースを大切にしながら、安心して過ごしていただけるよう職員一同で支援してまいります。これから始まる新しい環境での生活が、利用者さんにとって少しずつ「自分らしくいられる場所」になっていくよう、日々の関わりを丁寧に積み重ねていきたいと考えています。ご家族の皆様にも、安心して見守っていただけるよう、生活の様子や変化などを随時お伝えしながら、共に支えていければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご家族からのコメント

- ・安心して過ごしてくれればと思います。 (石田亮^{いしだりょう}さん母)
- ・春の宴の際笑顔が見られた。居心地が良いのではと思う。みんなと仲良く残りの人生を過ごしてほしい。 (大西祐哉^{おおにしゆうや}さん母)
- ・今まで色々あったが寂しい。新たな一歩になればと思う。 (野島諒^{のじまりょう}さん母)
- ・不安ではあるが、早く入所の生活に慣れてくれたらと思います。 (村松恭輔^{むらまつきょうすけ}さん母)

入所部 | 日中活動グループ



グループごとの利用者集合写真
○は新しい利用者さん4人



利用者数

ホップグループ (14名)

今年度より利用者さんのメンバー構成が変わりました。自立課題では、指先を使った作業や手先のトレーニングに取り組み、運動面では機能低下を緩やかにするための身体活動を取り入れています。今後も、利用者の皆さまが意欲的に活動へ参加できるよう、一緒に取り組んでいきます。

(生活支援員 西川 瑠梨)

利用者数

ステップグループ (11名)

今年度、タオル干しやプットイン作業や文字練習など、それぞれに合った活動を提供していきたいと思えます。昨年度、エアロバイクを購入し体力維持・発散に使用しています。利用者さんのメンバー構成が変わりますが、その中で活動を落ち着いて行えるよう、パーテーション等の環境、本人に合った課題を随時整えていきたいと思えます。

(生活支援員 検校 司)

利用者数

ジャンプグループ (17名)

今年度よりビーズ通しから、ストラップや、アクセサリ等の商品作成を色々検討しながら製作していこうと思えます。体力維持のためウォーキングも昨年度同様に、天候等により室内、裏山の山道等でしっかりと取り組んでいこうと思っています。

(生活支援員 荒川 渡)

※利用者数は曜日によって異なります

トピックス

新しいホームでの生活が始まって ハピネスゆうわ、その後

ハピネスゆうわの入居開始から1ヶ月になりますが、ご自分の居室で好きな事をして過ごしておられる方、食堂で外を眺めて過ごされる方、洗濯物を世話人さんと一緒に畳んだりされる方など、自分なりの生活の仕方が出来ていると感じております。まだ新しい世話人さんのお名前が分からないので「厨房さん」と呼びかける利用者の方もおられ、「今日は〇〇さんですよ」とご紹介しながら過ごしています。入居者の皆さんにとってハピネスゆうわが快適で安心して日々を過ごせる場所である様に職員も尽力して参ります。



(生活支援員 永中 崇裕)

まってきました！ 毎週水曜日は移動スーパーの日！

水曜日、グループホームの皆さんも順番の日になると朝からソワソワし待ち遠しくてたまりません。販売車の隅から隅まで品定めしてパンやジュースなど好きな物を購入されます。ホームに戻ると購入した物を美味しく食べておやつを過ごす時間を楽しみます。やはり、食べている時が一番嬉しそうな表情ですね。今年度も皆さんが楽しめるような企画を考えていきたいと思っていますので宜しくお願い致します。(生活支援員 正木 はるみ)

月に1回のおたのしみの土曜日 こいのぼり作り

4月18日(土)の開所日では、5月に向けての伝統的な端午の節句の象徴「鯉のぼり」作りに取り組みました。各班に分かれて丸い折り紙とシールを使って、胴体へ貼り重ねて個性溢れる模様と、色塗りで装飾を施し完成しました。完成した鯉のぼりは、通所ホールに飾り、皆さんで鑑賞ができるようにしました。(生活支援員 井場 孝行)



ホームでの日々の生活 同じ釜の飯を囲む仲間

3月末から4月にかけてフレンドホーム内でコロナが流行し、入居者・保護者の方には大変ご心配をおかけしましたが、無事に新年度を迎えることができました。4月に入り、新しい職員、新しい入居者、新しいショートステイご利用の方、変化の多い毎日です。入居者さん同士の会話を伺っていると、ご自分の事を話しているように見えて、実は周囲の方のことも気遣われているように感じてハツとする事も多いです。家族とは違うけれど、同じ釜の飯を囲む仲間として、毎日クスリと笑ったり、ほっこりするエピソードがあります。(部長 川久保 貴子)

入所部より 3階改修工事とパジャマ貸出について

4月上旬に、3階の3部屋およびフロア壁面の改修工事を行い、修繕が完了しました。主に3階は短期入所のご利用者様や、インフルエンザ等に罹患されたご利用者様に利用いただくフロアです。ガラッと全体が明るくなり、より快適な環境となりました。また、4月より短期入所をご利用される方に、新たにパジャマや歯ブラシの貸し出しを開始いたしました。ご利用者様や短期入所の準備をされる保護者の皆様から大変ご好評をいただいております。より短期入所ご利用時に快適に過ごしていただけたらと思っております。パジャマのご利用を開始し、衣服にこだわりのある利用者さんが貸し出し用パジャマで過ごせるという新しい発見がありました。これからも安心してご利用いただけるように、引き続き取り組んでまいります。(生活支援員 西川 瑠梨)



左：貸出用のパジャマを着用した職員



右：入所棟3F

車いす用トイレと女子トイレのリフォームをしました 新しくなったトイレ

通所棟のトイレが新しくなりました。床や壁が薄オレンジ色で、全体に明るくなっています。広いトイレ内には木製のベンチが設置され、荷物を置くのに便利だそうです。ゴミ箱も定位置ができて汚物などが清潔にしまえるようになりました。今までよりさらに清潔感が感じられ、使って気持ちのいいトイレになったと職員さんには好評です。掃除もしやすいそうです。(取材 ヒューガノリコ)



トイレに手すりがつきました 貝通し棟横トイレ・リニューアル

立ち座りの負担軽減や転倒防止のため、4月に貝通し棟横のトイレに手すりが設置されました。さっそく利用者さんから絶賛のお声をいただいております。これからも、安全で快適な環境作りに努めていきたいと思えます。

(生活支援員 冠 茜)



みにいってきました！ からふるアート展

はつかいち美術ギャラリーは友和の里から車で35分くらいのところにあります。土曜日にホームで暮らす小関孝一さんと一緒に作品を見に行きました。この展示は発達障がい者週間に合わせて計画され、今年友和の里からは入所部の方の6点の作品を出展しました。市内にあるさまざまな福祉事業所から作品が集まり、放課後デイサービス等に通う児童さんの絵も年々増えてきています。帰り道、喫茶店によってサンドイッチとミックスジュースを飲んだ小関さん。「つぎはいつかね？」と早くも次の外出のことを話されていました。

(地域交流支援員 ヒューガノリコ)

今年もたくさん咲いています チューリップ満開

秋にみんなで植えたチューリップの球根が咲いたよー！赤白黄色。お天気の良い日に畑に行つて撮影しました。



新緑の中で、その人らしく暮らすということ

新緑がまぶしい季節となりました。木々の葉が一斉に芽吹き、やわらかな緑に包まれるこの時期は、自然の力強さとともに、日々の暮らしに元気をもらっているように感じます。

この春、友和の里では新しく利用を始めた方を迎え、また生活の場の変化に伴う入れ替わりもありました。新しい環境での生活は、期待とともに不安も伴うものです。慣れない場所や人の中で過ごす時間は、利用者の皆さんにとって大きな変化であり、私たちもその一つひとつに丁寧に向き合うことの大切さを改めて感じています。

友和の里の基本方針の一つに、「利用者一人ひとりの個性を尊重し、意思や要望をふまえて、その人らしい暮らしの支援を目指す」という考え方があります。私たちは、同じように支援をするのではなく、その人に合った関わりを考え続けることを大切にしています。

利用者の皆さんの感じ方や過ごし方、安心できる形はそれぞれ異なります。言葉にできる思いもあれば、表情やしぐさの中に表れる気持ちもあります。そうした一つひとつを受け止めながら、その人にとっての安心や心地よさを見つけていくことが、その人らしい暮らしにつながっていくのだと考えています。そしてその過程は、支援する側が一方的に形をつくるものではなく、関わりの中でともに積み重ねていきます。利用者の皆さんの変化や成長に学びながら、私たち自身もまた、関わり方を見つめ直し、成長していきたいとおもいます。

新緑の木々がそれぞれ違った形で葉を広げていくように、私たちも一人ひとりの個性を大切にしながら、その人らしい暮らしを支えていきます。

(常務理事 中村 真和)



5

友和の里行事予定

- 5/3 日 恋サブレ来店 (ホーム)
- 5/4 月 レクリエーション (入所)
- 5/8 金 夕食会 (ホーム)
- 工賃支払日 (通所 / 入所)
- 5/11 月 健康診断 (入所)
- 健康診断 (通所)
- 5/12 火 お楽しみ会 (入所)
- 5/16 土 土曜日開所日 (通所・入所)
- 5/21 木 サツマイモ苗植えつけ (通所)
- 5/22 金 避難訓練 (入所 / 通所)
- 5/26 火 夕食会 (入所)
- 5/29 金 そうじの日 (入所)
- 5/31 日 訪問美容 (ホーム)

水曜日移動ス

					1	2
					ぎょうじ しよく	
3	4	5	6	7	8	9
恋サブレ			たいじゅう そくてい		ゆうしょく かい	ごうちん
	レクリエ ション					
10	11	12	13	14	15	16
	けんこう しんだん	おたのしみ かい				かいしょび
						かいしょび
17	18	19	20	21	22	23
					ひなんく んれん	
				芋苗うえつけ		
24	25	26	27	28	29	30
		ゆうしょく かい			そうじのひ	
31						
ほうもん びよう				にゅうしょ (入所)	つうしょ (通所)	
				ホーム	アーチェリー	たいじゅう そくてい

ホーム
 (これからホームに総称します)
 グループホームゆうわ
 フレンドホームゆうわ
 ハピネスゆうわ

絵：石田亮

新しい職員さん



世話人 新久 利子

ホーム世話人 新久 利子さん

このほどご縁を頂き再就職させていただきました。23年前調理員として勤務していましたが、その後介護職に従事しておりました。調理は改めて一からのスタートになります。元同僚職員との再開もあり、大変心強く感じております。これからは、安全で美味しい食事の提供を心掛けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



世話人 坂本 加代子

ホーム世話人 坂本 加代子さん

77歳この年齢でまた新たな生活が始まりました。少し心配もあるけどウキウキ感の方が強いです。これからどんな日々がまっているのかと楽しさがあります。色々聞きながらがんばっていこうと思います。



世話人 久原 一二三

ホーム世話人 久原 一二三さん

楽しく和気あいあい年をすることがモットーです。利用者さんにも積極的に話しかけることを心掛けています。よろしくお願いします。

ご寄付のご紹介

友和の里通所部保護者会さま
 友和の里入所部保護者会さま
 たくさんのご寄付を賜り厚くお礼申し上げます